

会 議 録

会議名	令和6年度 第1回佐久市環境審議会
事務局	環境部 環境政策課 環境政策係
開催日時	令和6年8月7日(水) 15時30分～17時10分
開催場所	佐久市役所南棟3階会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>  平林 公男委員、小宮山 尚明委員、麻生 知子委員、  辻 明子委員、青柳 京子委員、大工原 公吉委員、  糊澤 静枝委員、坂川 和志委員、小島 和夫委員、  森泉 文人委員、泉 裕美委員、井出 時子委員、  木内 朋華委員、駒村 英二委員、在家 明子委員、  松野 健委員、奥村 景子委員</p> <p style="text-align: right;">(17名/20名出席)</p> <p><b>【事務局】</b>  木内環境部長、井上環境政策課長、木内生活環境課長  環境政策課 環境政策係 百瀬係長、伊藤主任  生活環境課 環境衛生係 井出係長、小山主任</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 審議事項 第二次佐久市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画素案について</li> <li>3 その他</li> <li>4 閉会</li> </ol>

	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 審議事項</b></p>
事務局	《資料1「第二次佐久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画素案」について説明》
事務局	《資料5「事前提出された意見等とそれに対する事務局回答（審議事項）」について説明》
委員	<p>発生の抑制の対策の一つとして、排出量が少ない世帯のために可燃ごみの袋のもう少し今の“小”より小さいサイズの袋の追加の検討をお願いします。</p> <p>可燃ごみの発生抑制のところで、可燃ごみのうち木、竹、わら類が約10%の割合を占めているので剪定枝葉として回収すれば削減されると思われます。可燃ごみとは別に剪定枝葉を資源として回収する体制を作るとよいと思います。</p> <p>2 再使用の推進の推進策で、市の方で不用品を交換できるような体制を作っていただけるとよいと思います。</p> <p>大型ごみの回収、指定袋に入らない埋め立てのゴミの回収について、排出困難世帯への対応で、免許返納などで処分場への排出が困難な方への対応はもちろんのことですが、全世帯にとってもごみステーションや近隣の排出場所での回収といった方法の検討をしていただきたいと思います。</p>
事務局	実際にやれること、コスト面等を考えたうえで、なるべく対応できるようにこの計画を作っていますので、今後の課題として捉えさせていただいて検討を続けさせていただきたいと思います。
委員	58 ページの環境美化活動の推進に関連して、知り合いにポイ捨てを集めるボランティアへ参加していて、佐久地域でボランティア活動をしている方がいるが、佐久市のサポート体制が一番薄いという意見を聞きました。この素案の審議とは別として、ボランティア活動をしている人に対してのサポートの基準みたいなものを設けるのかを知りたい。
事務局	佐久市では、個人の方や様々な立場の方がボランティア活動をしたいという方がいるが、そこに公共性というものを持たせたいと思っています。

	<p>自分の家のゴミを不法投棄と言っている方も、実態としています。ちゃんと対応している方と、そうではない方をどう区分するかの基準として公共性が重要であると考えています。市としては、回収したものを公共性のある場所に置いていただいて、区長または衛生委員から連絡があれば、市で回収に伺う制度にして長年行っています。それ以外にも、マスコミにも載るようなレベルでやる方や定期的に大人数で集まる活動には公共性があると思っています。そういった方々が集めたごみは、回収に伺うようにしています。</p> <p>また、不法投棄を回収するための袋は、できればご自宅にあるものでやっていただきたいと思います。それ専用のものであるのか、また、行政でお配りするのかというところは検討が必要と考えています。</p>
委員	<p>令和3年に策定した長野県の廃棄物処理計画で、県の方では現在4Rということで、リデュース、リユース、リサイクルにプラスしてリプレイスを掲げて、使い捨てプラスチックのようなものから代用素材へ転換する取り組み、信州プラスチックスマート運動を展開しています。信州プラスチックスマート運動など県の計画と連携できるのであればぜひお願いします。</p>
事務局	<p>2050カーボンニュートラルに関連して、プラスチックゴミをどのように減らすかが、今後の重要な施策になっていくと思いますので、長野県で掲げられている4Rの考え方について、市の計画でも積極的にできることをやっていきたいと思っています。</p>
平林会長	<p>第6節の他自治体との比較、1 全国及び長野県との比較のところでは触れてないといけない話なのですが、計画の中で触れていますか。</p>
事務局	<p>43ページの下段で、長野県の動きとして触れさせていただいて、計画の施策等を踏まえてこの計画を作っています。具体的な記載の方法等を考えさせていただきたいと思います。</p>
平林会長	<p>表現の方法を少し工夫すれば、ご指摘の内容はクリアできると思います。</p> <p>40ページで総排出量について、長野県自体が全国でゴミ排出量、特に生ゴミ等について、非常に少ない地域ですが、その中でも佐久市では様々なところで努力されていることが分かります。こういったことを市民の方に、もっとアピールした方がよいと思っています。それが令和26年に向けて、「さらにまた減らしていきましょう」というモチベーションが高ま</p>

	<p>ると思います。何%減らすという数値目標は必要ですが、実際には全国レベルでも非常によくやっている地域であって、それが見えるような形で示すことで、より効果的な計画になると思います。</p> <p>それから臼田地区では、先進的な生ごみの堆肥化が行われており、一つのモデル地域を佐久市は持っているので、このようなモデル地域の存在をもっとアピールした方が良いと思います。目標だけではなくて、実際にこういった事実もアピールしながらやっていくことが良いのではないかと思いました。</p>
麻生副会長	<p>かなり緻密なごみ調査をしていただいて、地域による世帯の年齢構成、家族構成等をクロスした考察をされています。</p> <p>本計画を練り上げていくときに、ごみ問題をどうしていったらいいかっていうのは、それぞれの地域の生活の特性に合わせて施策も違ってくると思います。一律に市民へ働きかけるのではなく、地域ごとによって重点的なキャンペーンや声かけの仕方を工夫できると、それぞれの地域として意識が高まるのではないかとと思います。</p>
委員	<p>数値が多く、掲げられた目標を達成するための具体的なイメージが難しいと感じました。なので、例えば1人1日リンゴ1個削減をすれば、これだけゴミが減りますよというような、具体的に想像できる指標を用意していただければわかりやすいと思います。</p>
平林会長	<p>とても重要なポイントでありますので、実際に工夫してみてください。</p>
事務局	<p>工夫させていただきます。</p>
委員	<p>資料5で11番の質問をさせていただき、計画の中で理念を示すのは大切だと思いますが、行政が策定する計画で個人の行動に言及する内容を入れるのは、生活に干渉している印象を感じました。</p>
事務局	<p>表現の方法等を工夫させていただいて、変えさせていただきたいと思います。</p>
平林会長	<p>今のようなご意見も出てくる可能性もあるので、十分に検討をしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>以前、ご質問した臼田の堆肥センターの件で、環境部署ではなく、農業関係の方で所管をしているため、返事をする事ができないと言われた</p>

が、それはどういうことでしょうか？

また、堆肥化のあり方、施設についても検討すると記載がありますが、市の見解をお願いします。

事務局

施設自体の所有は農政課です。その理由としては、元々の成り立ちが農業で使用する堆肥を作る施設で、生活環境課でコントロールしていません。ただ、昨今の畜産農家の減少で、主原料の搬入量が少なくなったことによって、生ごみが主原料のような形になっていて、生ごみを使った堆肥を作っているというふうに変化してきました。行政が施設を作るときは、国の補助やその補助金だけで作れない部分は借金をして作っている状況です。

以上のような理由から、全体のコントロール、施設のコントロール自体は、生活環境課で行っていません。畜糞を原料に堆肥を作る目的であったのが、生ごみにシフトしてきている状況で、先ほど会長からもアピールすべき素晴らしい施策といただいたのですが、そういったものを今後どういうふうにしていくかっていうところは今後の課題だと思います。

ただし、施設の老朽化や、分別の負担が臼田の住民だけという意見もございます。これを先ほどのプラスチックの分別をちょっと変えるだけでもかなり混乱するという話がある中で、理念は当然全市的にやった方がいいと思いますが、生ごみを正しく分別できるのか等の問題も出てきますので、慎重な検討が必要です。

市内部での施設の所管の違い、予算の関係もある中で、この施設を長く使っていきたいという思いはありますし、老朽化で急に使えなく可能性もあります。それまでに新しい施設を作れるかという問題もございます。一方で生ごみの分別に対する市民の意見など、市全体の中で、今後について議論すべきことだと思っていて、こういった書き方にさせていただいているところをございます。

平林会長

「本当は市で、そういった施設を整備してくれるのかな」というのが、私の中にあり、元々の始めた経緯もありますが、生ごみの問題に流れていくところもあるので、ゆくゆくはそういう形で進めていただければ良いと思います。

今日、審議をいただいた素案について、委員の皆様からの意見をふまえ、修正箇所を修正のうえ、これで決定というふうにしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

(意見なし)

平林会長	意見等がないようですので、素案を決定とします。
委員	<p><b>3 その他</b></p> <p>最近のごみの情勢から、事業製品の過剰包装が、非常に私は気になっています。審議会で審議したこの計画の内容になじまないのが、市としてではなく、全体的な流れとして、抑制や発生しない運動のような形へもっていくことはできないか。今回のテーマと異なるので、盛り込んだり、提言することはできないが、付帯意見も含めて、持って行き方を検討して、運動のようなものに繋げることはできないでしょうか？</p>
平林会長	<p>54 ページの(5)過剰コストの削減に施策や、発生抑制の推進の中の具体的な問題が挙げられていますので、今のリクエストはこの5番目の項目である程度、施策を見ていただければというふうに理解をしております。それでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>佐久市全体という規模ではなくて、風潮として取り組まないと難しいと思います。</p>
平林会長	<p>「全体的に協力していきましょう」という中で、施策や活動の積み重ねで、佐久市という地域、それから長野県、日本というような形で少しずつ輪を広げていくっていうような形でやっていくしかないかなと思っています。とても重要なお指摘の一つであると思いますので、折を見ながら触れていただければと思います。これは「ごみ」だけではなく、様々な環境保全についても全く一緒だと思います。</p>
委員	<p>佐久平クリーンセンターのとてもそばに住んでおり、センターの横に佐久市の観光名所パラダスキー場があります。観光地の傍で、毎日煙が上がっているのを見て、観光名所のすぐ横に作ったってことは、クリーンであると思っているので、もっとそこをアピールしてもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>次回の審議会は、第二次佐久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の答申案について、審議を賜りたいと考えております。開催時期につきましては令和7年2月頃を予定しております</p> <p><b>4 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">(終わり)</p>